

早稲田大学ラグビー蹴球部の行事と寮生活からみる伝統と文化 Tradition and culture which are seen from an event and a dormitory life of Waseda University Rugby football team

1K09B146-4

指導教員 主査 寒川恒夫 先生

中鶴 隆彰

副査 瀬戸那弘 先生

【目的】

私は、早稲田大学ラグビー蹴球部に所属し、4年間の学生生活とラグビー強化寮での寮生活を過ごしてきた。早稲田大学ラグビー蹴球部という伝統と歴史のあるコミュニティの中で過ごして感じたことは、伝統とは毎日の日々の積み重ねであり、早稲田ラグビー部には独特の文化が形成されている。そして、私が過ごした4年間をみると毎年基本的に同じような年間スケジュールを過ごしていた。そこで、今回、新チームがスタートしてから終わるまでの1年間の試合や行事や伝統を時期追ってまとめてみることにした。また、私は最終学年である4年目にラグビー強化寮のトップである寮長を務めてきた。せっかく寮長という役職をこなしてきたのだから何かを残したいという想いと、早稲田大学ラグビー蹴球部には長い寮の歴史と、独自の文化や伝統があり、寮生活の中身をまとめた文献は今までなかったので、研究しまとめようと思ったことが本論文を作る目的である。

【方法】

フィールドワーク。文献を読むことや、関係者に話を聞くことで資料を集めた。また自分が体験してきた事を論文にし、まとめた。

【結果】

今回、早稲田大学ラグビー蹴球部の行事と寮生活からみる伝統と文化をまとめてみたところ、早稲田ラグビー部には様々な伝統や文化が存在しており、それを文章や写真を交えてまとめた。

【考察】

第一章 早稲田大学ラグビー蹴球部について

第一章ではまず、早稲田ラグビー部の成り立ちから、早稲田ラグビーのアイデンティティである「荒ぶる」について、早稲田ラグビーのDNAの部分である早稲田ラグビーの特徴、大学の中でもトップクラスと言われている恵まれた環境についてまとめている。

第二章 新チーム発足から春シーズンまで

第二章では新しいチームのスタートから、春シーズンと呼ばれる夏合宿の前までの試合期までの行事や伝統をまとめている。新チームの1年間のチームスローガンについてや新入部員に関する行事、地方での招待試合、春シーズンの終わりの区切りである北

風祭についてまとめている。

第三章 夏合宿について

第三章では菅平高原での夏合宿についてである。早稲田大学ラグビー部は例年、長野県上田市にある菅平高原にて1カ月近い期間、夏合宿を行っている。夏を越えて早稲田は格段に強くなるといわれるように菅平では厳しい練習の日々を過ごす。菅平での夏合宿の日々には、たくさんの歴史や伝統がつまっており、それを第三章ではまとめている。

第四章 対抗戦から大学選手権まで

第四章は公式戦についてである。菅平での夏合宿が終わればすぐに関東大学ラグビー対抗戦が始まる。

11月23日には早慶戦、12月の第1週の日曜日には早明戦が行われる。伝統の一戦とよばれているこの2試合は日本中のラグビーファンが楽しみにしており、NHKによるテレビ放送がされているなど、注目度は高い。特に早明戦は、日本のラグビーの試合において、最も観客を集めている試合である。対抗戦から大学選手権はいわゆる公式戦であり、それに関する伝統や文化についてまとめている。

第五章 その他の伝統

第五章では、年間スケジュールには関係のない、早稲田ラグビー独特のその他の文化についてまとめている。1年生の仕事の役割などや、早稲田ラグビー部の基本的な組織図やシステムについても整理している。

第六章 強化寮の歴史

第六章では早稲田大学ラグビー部の強化寮の歴史についてまとめている。ラグビー部の強化寮の歴史は長く、たくさんの逸話も残っており、強化寮を造るに至った経緯などもまとめている。

第七章 寮生活における文化

早稲田大学ラグビー部の伝統や文化をまとめるうえで、寮生活との関わりは切り離せない事である。しかし今までに早稲田大学ラグビー部の強化寮内の独自の文化はほとんど明かされていない。そこで、初めて私が早稲田大学ラグビー蹴球部の寮についての伝統や文化についてまとめたのである。